

◆鎌倉寺社ご利益一覧

★あみかけの寺社は正月向けの場所

- ・開運 : 八雲神社(大町)、虚空蔵堂、明月院
- ・縁結び : 安養院、成就院、鎌倉宮、覚園寺、浄光明寺、佐助稲荷、葛原岡神社
- ・子授け : 上行寺、瑞泉寺、旗上弁才天(八幡宮)、明月院、覚園寺
- ・安産 : 大巧寺、上行寺、来迎寺(西御門)、覚園寺
- ・子育て : 大宝寺、大巧寺、円応寺、覚園寺、杉本寺、極楽寺、宝戒寺
- ・女性守神 : 東慶寺、来迎寺(西御門)
- ・合格祈願 : 荏柄天神社、常楽寺
- ・学問成就 : 荏柄天神社、成就院、葛原岡神社、成福寺、宝戒寺、来迎寺
- ・技芸向上 : 宝戒寺、本覚寺
- ・知恵 : 鎌倉宮、建長寺半増坊、成就院、大宝寺、報国寺、八雲神社
- ・出世 : 佐助稲荷、大宝寺、佛日庵
- ・商売繁盛 : 本覚寺、鶴岡八幡宮、建長寺半増坊、佐助稲荷、長谷寺
- ・病気回復 : 極楽寺、上行寺、薬王寺、海蔵寺、覚園寺、佐助稲荷、満福寺
- ・富・蓄財 : 銭洗弁財天、今泉不動、宝戒寺、明月院
- ・厄除け : 八雲神社(大町)、延命寺、建長寺半増坊、浄光明寺
- ・眼病 : 本覚寺、来迎寺(西御門)
- ・腰痛足痛 : 来迎寺(西御門)
- ・長寿 : 円応寺、覚園寺
- ・極楽往生 : 高德院大仏
- ・咳 : 光照寺
- ・癌 : 上行寺
- ・女性病気 : 浄妙寺、来迎寺(西御門)
- ・女性成仏 : 教恩寺
- ・水子供養 : 長谷寺、杉本寺、宝戒寺
- ・鬼門除け : 五大堂明王院

_____のお寺はご利益が多い

★十三仏霊場

明王院:不動明王
 浄妙寺:釈迦如来
 本覚寺:文殊菩薩
 浄智寺:弥勒菩薩
 寿福寺:普賢菩薩
 円応寺:地藏菩薩
 海蔵寺:薬師如来
 報国寺:観世音菩薩
 浄光明寺:勢至菩薩
 来迎寺:阿弥陀如来
 覚園寺:阿閃如来
 極楽寺:大日如来
 成就院:虚空蔵菩薩

★鎌倉七福神めぐり

- ① 浄智寺…布袋尊
- ② 鶴岡八幡宮…弁財天
- ③ 宝戒寺…毘沙門天
- ④ 妙隆寺…寿老人
- ⑤ 本覚寺…恵比寿
- ⑥ 長谷寺…大黒天
- ⑦ 御霊神社…福祿寿

※七福神巡り注意事項

- ・全行程約4時間程度
- ・歩いて巡るのが基本
- ・番号順に巡って下さい
- ・①～②、⑤～⑥間はバス利用可。バスを使っても時間短縮にはならない。
- ・拝観時間にご注意下さい

★鎌倉の初日の出…鎌倉の初日の出は三浦半島

- の上に昇ります。7時頃見られます。坂ノ下お勧め。
- ・坂ノ下海浜公園…江ノ電長谷駅約350m
 - ・長谷寺…見晴台から見られます(終日開門)
 - ・由比ガ浜海岸滑川河口付近…鎌倉駅約1.2Km
 - ・稲村ガ崎海岸…江ノ電稲村ガ崎駅約400m
 - ・七里ガ浜海岸…江ノ電七里ヶ浜駅約200m

鎌倉市議会議員長嶋竜弘第113号(12月3期目14号)完全無所属



鎌倉市議会議員
長嶋竜弘

我人に媚びず富貴を望まず ① : kamakurasi@gmail.com

鎌倉市議会・〒248-8686 御成町18番10号
 電話 23-3000(市役所代表) 自宅:極楽寺 2-6-10-201
 稲小→成中→茅ヶ崎高校→和光大学、元(株)西友社員



←
H
P

◆住民投票条例、10対15で否決 ⇒ 市役所移転の是非を問う 住民投票は、鎌倉市議会で否決となり実施できなくなりました。

○賛成10名(敬称略)

- ・日本共産党鎌倉市議会議員団(吉岡和江 武野裕子 高野洋一)
- ・神奈川ネットワーク運動・鎌倉(保坂令子 安立奈穂)
- ・無所属(松中健治 千一 竹田ゆかり くりはらえりこ 長嶋竜弘)

×反対15名(敬称略)

- ・鎌倉夢プロジェクトの会(高橋浩司 日向慎吾 永田磨梨奈)
- ・公明党鎌倉市議会議員団(納所輝次 西岡幸子 大石和久)
- ・鎌倉みらい(池田実 山田直人 前川綾子)
- ・自由民主党鎌倉市議会議員団(伊藤倫邦 志田一宏 森功一)
- ・鎌倉のヴィジョンを考える会(久坂くにえ 河村琢磨)
- ・飯野真毅(立憲民主党) (赤字2名は来春神奈川県議会議員立候補予定者)

◆本庁舎移転は決まっています…決まるのは次の市議・市長選挙あと

市役所本庁舎の深沢地域整備事業用地移転は正式に決定したのか?との私の議会での質問に松尾市長は、⇒自治法という中での市役所の位置を定める条例この点について、正式に決定してゆくのはこれからと言う事になりますと答弁⇒その後市役所の位置を決める条例の提出は早く平成33年(2021年)と部長が答弁。また、都市計画決定は来年度の予定でしたが2021年に延期となった。更に、暫定利用で5年間民間に土地を貸すそうです。市長お得意の先延ばしで無駄な経費がまた消えてなくなる。

↓古いマップでは浸水 0.5m 未満



↑鎌倉市津波ハザードマップ(平成 25 年 3 月改定・配布)
ベースデータ神奈川県津波浸水予測図(平成 24 年 3 月)

▲平成 29 年 3 月 鎌倉市本庁舎整備方針 P12 参照
(本庁舎の課題,防災 構造面の課題 津波に対する脆弱性)

現在の本庁舎敷地の大半は、神奈川県想定明応型地震による浸水予測(最大クラスの津波)において 0.5m 未満(一部 0.5~1.2m)の浸水が想定される区域となっており、庁舎 1 階部分及び地下への浸水が想定されます。なお、受変電設備及び各庁内への配電設備が地下にあるため、津波によって電気室が水没した場合は送電が不可能となり、ライフラインが停止する事態に陥ります。

◆こんな騙しを行政がやっていいのか…深沢ありきのおかしなバイアス

現在の本庁舎は津波で 50cm 浸水するので電器設備がダメになる等の、津波の浸水を「本庁舎深沢移転の最大の理由」としていた。

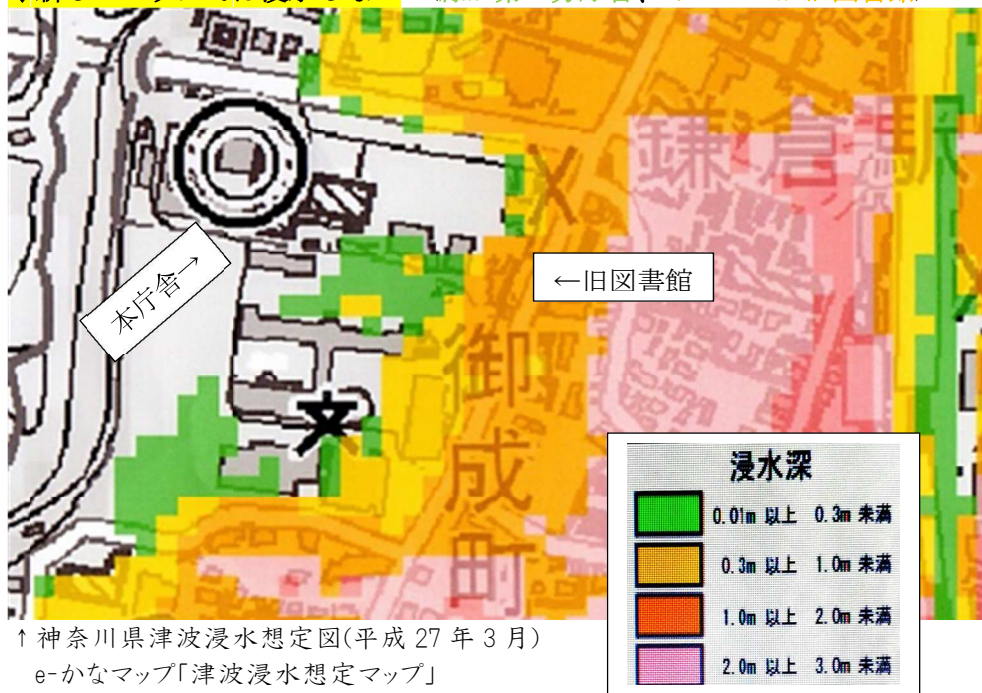
↑↑↑ しかし 古いデータを根拠にそう言っていた ↓↓↓

国からの最新の科学的知に基づき作成された「平成 27 年 3 月発表の神奈川県津波浸水想定(右図)」では、**現在の本庁舎は想定最大規模の津波でも浸水しない事がわかった**。法律に基づき設定された新しい「津波浸水想定」で都市計画が行われない事は極めておかしな事態です。

築地市場移転問題の二の舞になりかねない事態です！

前提条件が変わったのだから再考する必要がある。

↓新しいマップでは浸水しない (緑が第3分庁舎、オレンジが旧図書館)



↑神奈川県津波浸水想定図(平成 27 年 3 月)
e-かなマップ「津波浸水想定マップ」

▲10 月 24 日に開催された本庁舎等整備委員会 資料 3 P5、P6 参照
神奈川県津波浸水想定図によると、現在地における、津波による浸水の想定は、敷地の南東側に立地する第 3 分庁舎付近で「0.01m 以上 0.3m 未満」、「0.3m 以上 1.0m 未満」及び「1.0m 以上 2.0m 未満」が混在しています。

また、ここに記載の浸水が想定されている、敷地の南東側に立地する第 3 分庁舎付近とは、工事が一時中止となっている「おなり子どもの家」の場所(1.0m 以上 2.0m 未満)が含まれている。

神奈川県 HP e-かなマップに掲載

※神奈川県津波浸水想定について

平成 25 年 12 月に、内閣府が設置した「首都直下地震モデル検討会」から、発生頻度が 2 千年から 3 千年あるいはそれ以上とされる、相模トラフ沿いの最大クラスの地震など、最新の科学的知見が示されました。

このため、国の新たな知見を取り入れ、県民のいのちを守ることを目的として、**想定外をなくすという考えのもと**、神奈川県沿岸に最大クラスの津波をもたらすと想定される、9 つの地震を対象として津波浸水予測を見直し、平成 27 年 2 月 27 日に本県の沿岸地域における「津波高さ」または「浸水域」が最大となる、合計 5 つの地震による「津波浸水予測図」を公表しました。これらの津波浸水予測図を基に、「浸水域」と「浸水深」が最大となるよう重ね合わせた図面(津波浸水想定図)を作成し、「津波防災地域づくりに関する法律」に基づき「津波浸水想定」を設定しました。